

あらぐさ通信

2022年
1月30日発行
17号
編集者
山根 康裕
090-1180-3217

発達の権利の平等性について

今年最初のお便りとなりました。

広島県 まん延防止等重点措置が適応されました
2月20日まであらぐさ開催は、中止とし
お弁当など配付を検討します。

オミクロン株が猛威をふるい、広島市では、連日500人を越える感染者が出ています。

うしたあらぐさクラブへ広島市から食事提供は、テイクアウトのみ実施可能との通達がきました。大変、残念ですが2月20日までは、あらぐさクラブは開催しません。お弁当や手作りおもちゃ等の配布を検討します。



1/16のメニューは、豆ごはん・豚肉の生姜焼き・ポテトサラダ。手作りお菓子。



1/9(日)お弁当。卵焼きは、米澤さん得意料理です。



1/23は医療生協組合員さんによるおにぎりの中に具材たっぷりのサンドイッチ。



1月からお菓子は小田町内会の住田さんの手作りです。1/23はクッキーでした。

あらぐさ開設の初心を振り返ってみたいと思います。開設目的は「すべての子どもの学習する権利を保障し、健やかな成長を実現すること」です。低学力、引きこもり、学習機会の恵まれない子ども達を想定し、わかることを通して、自己肯定感を高めることを目指しています。

また直接には書いていませんが、あらぐさでは集団活動を通しての目標も大切だと考えています。

それは、一緒に学習することや集団遊びを通して、「自分だけがでさるようになるのではなく、他の子どもの進歩も喜べる人となる」ことです。

「発達する権利の平等性」と呼んでいます。子ども達それぞれが、同じように成長・発達するわけではありませんが、それぞれが成長する権利を持っており、そのことを応援できる人になることを目指しています。

今年もよろしくお願いします。

山根 英嗣

～2022年2月の当面の予定～

☆日曜日・水曜日：1/30～2/20 中止

まん延防止等重点措置が解除されれば2月27日より開始します。

◆ありがとうございました

- ・はなちゃんお母さんからクリスマスリース材料。
- ・大村一成さま：絵具など文房具多数。
- ・あいあいねっとさまよりお菓子や食材。
- ・なっちゃんお母さんよりお菓子多数。

☆小学校・中学生生徒参加者募集中！



水曜日担当
池田先生 紹介の巻

広大の法科大学院にいていました。趣味のロードバイクで数年前に山で事故して入院していましたが、今は元気に復活しました。49歳です。